

西

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
学校教育目標・教育方針 ①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>40%</td></tr> <tr><td>②</td><td>56%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>4%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	40%	②	56%	③	0%	④	4%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定評価（①+②）の割合は、教職員96%（R3は97%）保護者85%（R3は89%）地域90%（R3は64%）とコロナ禍3年目となり、学校に来ていただく機会が増えたためか、地域からの評価が大幅に増えた。しかしながら保護者への理解が4ポイント下がり課題となる。</p>
	評価項目	割合														
	①	40%														
	②	56%														
③	0%															
④	4%															
⑤	0%															
生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>with コロナとして、感染状況を見ながら、地域や保護者の声を活かした教育活動を推進していく。ホームページの充実、C4TH HOME&amp;SCHOOL等を積極的に活用して理解を深めていただく。</p>													
保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>15%</td></tr> <tr><td>②</td><td>70%</td></tr> <tr><td>③</td><td>9%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>6%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	15%	②	70%	③	9%	④	0%	⑤	6%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に足を運ぶ機会が増えてきたことは何より。</li> <li>・落ち着いた学校生活送っていることがよくわかる。</li> <li>・今後も保護者・地域の声に耳を傾け、教育活動にあたってほしい。</li> <li>・地域は学校に対して、もっと積極的に関与していくべきと思われる。</li> </ul>	
評価項目	割合															
①	15%															
②	70%															
③	9%															
④	0%															
⑤	6%															
地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>45%</td></tr> <tr><td>②</td><td>45%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>10%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	45%	②	45%	③	0%	④	0%	⑤	10%		
評価項目	割合															
①	45%															
②	45%															
③	0%															
④	0%															
⑤	10%															

西

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定評価（①+②）の割合は、                      教職員 88%（R3は93%）                      生徒 82%（R3は81%）                      保護者 88%（R3は89%）                      地域 100%（R3は76%）と地域の評価が大きく上昇した。とはいえ、それ以外の評価は十分ではない。引き続き、目標をしっかりと示していく。</p>
	生徒	私は、学校教育目標を知っている。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校朝会や朝の会での講話等を利用して再度、生徒への周知を徹底していきたい。</li> <li>○保護者会で学校教育目標や教育方針に関連する具体的な取り組みを説明するとともに、その成果を報告する。</li> <li>○ホームページを積極的に活用する。</li> </ul>
	保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育目標や教育方針を知って学校生活を送ると送らないのでは大きな差があると思われるので、全校生徒が理解した上で生活できるように努めていただきたい。</li> <li>・上記の通り、ホームページを積極的に活用してほしい。</li> <li>・ホームページの存在をもっとPRした方が良い。</li> </ul>
	地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。		

西

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<table border="1"> <caption>教職員評価結果</caption> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>12%</td></tr> <tr><td>②</td><td>76%</td></tr> <tr><td>③</td><td>4%</td></tr> <tr><td>④</td><td>8%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	12%	②	76%	③	4%	④	8%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定評価（①+②）の割合は、教職員88%（R3は100%）生徒94%（R3は95%）と昨年に引き続き、高い数値を得ることができた。「学び合い学習」の質の高まり、効果的なタブレットを活用した授業を行うなど、教諭一人ひとりの工夫と努力が見られた。</p>
	評価項目	割合														
	①	12%														
	②	76%														
③	4%															
④	8%															
⑤	0%															
生徒	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	<table border="1"> <caption>生徒評価結果</caption> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>63%</td></tr> <tr><td>②</td><td>31%</td></tr> <tr><td>③</td><td>3%</td></tr> <tr><td>④</td><td>2%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>1%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	63%	②	31%	③	3%	④	2%	⑤	1%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和5年度も、引き続きICT器機を活用した「学び合い学習」についての研究を進めていく。</li> <li>○埼玉県学力学習状況調査の結果を適切に分析し、「学習方略」「非認知能力」をを意識した授業改善を図っていく。</li> </ul>	
評価項目	割合															
①	63%															
②	31%															
③	3%															
④	2%															
⑤	1%															
保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約94パーセントの生徒が、先生方が分かりやすく工夫した授業をしていると感じており、評価できる。しかし、そう思っていない生徒もいるので、引き続き、より工夫した分かりやすい授業を行っていただきたい。</li> <li>・効果的なタブレットの活用を工夫していただきたい。</li> </ul>													
地域																

西

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導	教職員	生徒は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>44% 44% 8% 4%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定評価（①+②）の割合は、 教職員88%（R2は96%） 生徒91%（R3は89%） 保護者84%（R3は83%） 地域100%（R3は45%）であった。学校に来ていただく機会が増えたため、「⑤わからない・無回答」の割合が減り、地域の評価が上がった。</p>
	生徒	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>48% 43% 8% 1%</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「学び合い学習」の充実をさらに図っていくとともに、タブレットを活用した授業展開の工夫を引き続き行っていく。</li> <li>○「学習の手引（シラバス）」を活用し、主体的に学ぶ生徒の育成を図る。</li> <li>○ユニバーサルデザインを意識した指導を心がけ落ち着いた学習できる環境をつくる。</li> </ul>
	保護者	生徒は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>19% 65% 5% 11%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何度か授業を参観させていただいたが、生徒たちが落ち着いて授業に取り組んでいる様子を見ることができて、安心している。</li> </ul>
	地域	生徒は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>55% 45% 0% 0%</p>	

西

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、生徒の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定評価（①+②）の割合は、                      教職員 88%（R3は100%）                      生徒 88%（R3は94%）                      保護者 88%（R3は92%）とやや評価が下がった。学校が落ち着いているという現状に甘んじることなく、生徒の自己指導能力を高める指導を行なっていく。</p>
	生徒	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。		<p>課題解決への方策</p> <p>○校長のリーダーシップのもと、校内指導体制の再確認を図り、報告・連絡・相談を徹底し、全教職員の共通理解・共通行動で生徒の指導にあたっていく。                      ○「いじめ防止等基本方針」を常に確認し、全教職員の共通理解・共通行動で生徒の指導にあたっていく。</p>
	保護者	教職員は、生徒が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の目の届かない所でいじめが発生している可能性もあると思われるので、親からの相談や子どもの学校での動向などを注視して対応願いたい。</li> <li>・トラブル等にあった生徒が納得いくような対応を引き続きお願いしたい。</li> </ul>
	地域			

西

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑥	教職員	生徒は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定評価（①+②）の割合は、 教職員100%（R3は97%） 生徒96%（R3は99%） 保護者86%（R3は93%） 地域100%（R3は52%）であった。近年、 高い水準で肯定評価を維持することができている。</p>
	生徒	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毎年、生徒指導細則の見直しを行い、実態に合った指導体制を整えていく。</li> <li>○なぜ、きまりが必要なのかを正しく理解し、自らきまりを守ろうとする規範意識や遵法精神のを育成していく。</li> <li>○道徳教育を充実させるなどして生徒の心のより良い変容を図っていく。</li> </ul>
	保護者	生徒は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の一員として、自ら判断し、正しい行動が取れる生徒を育てていただきたい。</li> <li>・「きまりはきまり」と押し付けるのではなく、きまりの意味を考えさせ、理解を促す指導をしてもらいたい。</li> </ul>
	地域	生徒は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。		

西

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	生徒は校内ですすんであいさつをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定評価（①+②）の割合は、 教職員61%（R3は51%） 生徒88%（R3は92%） 保護者67%（R3は68%） 地域45%（R3は44%）と、生徒の肯定評価は高いが、まだまだ課題は残る。「自ら進んであいさつをする」ことの意義をしっかりと指導していきたい。</p>
	生徒	私は、すすんであいさつをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>○生徒指導の重点項目の一つに掲げ、生徒指導部を中心に、全教職員で指導にあたっていく。 ○「進んであいさつをする」「心を込めてあいさつをする」など段階的にあいさつの質の向上を図っていきたい。</p>
	保護者	生徒は、家族や近所の人にすすんであいさつをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前に比べると地域で挨拶ができる生徒は増えている。</li> <li>・教職員と保護者の評価が低い。家庭でのしつけの範囲でもあるが、学校においても引き続き進んで挨拶をする生徒を育てていってほしい。</li> </ul>
	地域	生徒は、地域の人にすすんであいさつをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

西

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
安 全 ⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定評価（①+②）の割合は、 教職員 81%（R3は96%） 生徒 96%（R3は97%） 保護者 73%（R3は82%） 地域 75%（R3は66%）と生徒は高い数値で安定しているが、その他の評価が下がってきている。</p>
	生徒	安全に、安心して登下校できる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭・地域と連携した登下校指導を行う。</li> <li>○引き続き、教職員が下校する生徒とともに地域を歩き、通学路の安全点検等に努めていく。</li> <li>○校務支援システムにおける緊急配信メールを利用して、不審者情報などを積極的に保護者に連絡していく。</li> </ul>
	保護者	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師や生徒は、安全に安心して登下校出来ている割合が高いが、保護者の方は、そう思っていない方が多いようである。保護者に何に対して安全安心と思えないのか聞き取り、不安を取り除けるよう努めていただきたい。</li> <li>・生徒が下校するとき、先生方も見守りをしてくれている姿をよく見かける。ありがたいと思っています。</li> </ul>
	地域	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

西

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定評価（①+②）の割合は、教職員 91%（R3は96%） 保護者 78%（R3は87%） 地域 95%（R3は72%）と地域の数値は上がったが、反対に保護者の数値が大きく下がった。学校WebページやC4thの有効活用を図り、さらに充実した情報を発信していきたい。</p>
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>○学校Webページ「学校日記」の更新頻度を上げ、生徒の活動の様子やPTA、学校応援団の活動も積極的に発信する。 ○紙面で行っていた保護者通知などを、C4th Home &amp; school に移行する。</p>
	保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・学校、家庭、地域が連携して取り組めるようなことを一緒に考えていきたい。 ・学校ホームページから、校内の取り組みや様子が伺えるようになったのはとても良い。</p>
	地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。		

西

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>32%</td></tr> <tr><td>②</td><td>46%</td></tr> <tr><td>③</td><td>11%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>11%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	32%	②	46%	③	11%	④	0%	⑤	11%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定評価（①+②）の割合は、教職員78%（R3は82%）保護者77%（R3は77%）地域60%（R3は48%）と昨年に比べ地域の数値が上がった。特に、福祉教育などにおいて、地域人材を積極的に活用することが出来ている。</p>
	評価項目	割合														
	①	32%														
	②	46%														
③	11%															
④	0%															
⑤	11%															
生徒			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナ禍における、地域人材の活用方法を模索していく。</li> <li>○学校応援団コーディネーターと連携し、新たな学校応援団の形を作っていく。</li> <li>○学校が求める支援活動を具体的に発信するとともに、学校への支援活動の実態を地域に発信する。</li> </ul>													
保護者	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>20%</td></tr> <tr><td>②</td><td>56%</td></tr> <tr><td>③</td><td>15%</td></tr> <tr><td>④</td><td>1%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>7%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	20%	②	56%	③	15%	④	1%	⑤	7%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携した福祉教育を実施しているのが素晴らしい。</li> <li>・学校応援団とPTAとが協力し合い、連携していくのはとても良いことだと思う。</li> <li>・地域人材の活用の仕方について、もっと議論を深めていく必要がある。</li> </ul>	
評価項目	割合															
①	20%															
②	56%															
③	15%															
④	1%															
⑤	7%															
地域	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>25%</td></tr> <tr><td>②</td><td>35%</td></tr> <tr><td>③</td><td>10%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>30%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	25%	②	35%	③	10%	④	0%	⑤	30%		
評価項目	割合															
①	25%															
②	35%															
③	10%															
④	0%															
⑤	30%															

西

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校環境①	教職員	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れる など、組織的に環境美 化に努めている。	<p>64% 32% 4%</p>	<p>評価結果 について の分析・ 課題</p> <p>対象ごとの肯定評価（①+②）の割合は、 教職員 96%（R3は93%） 生徒 95%（R3は94%） 保護者 88%（R3は90%） 地域 90%（R3は62%）と全体的に高い水準 を保つことができている。無言清掃が定着しつ つあり、更に質を高めていきたい。</p>
	生徒	私は学校をきれいに しようと心がけ、清掃 をしている。	<p>63% 32% 3% 2%</p>	<p>課題解決 への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○清掃の意義をしっかりと指導していく。</li> <li>○清掃の仕方などを見直し、より質の高い 清掃活動を目指す。</li> <li>○「無言清掃」の質の向上を図る。</li> </ul>
	保護者	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れ、 環境美化に努めてい る。	<p>28% 60% 5% 6%</p>	<p>学校関係 者評価委 員会によ る評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無言清掃はとても良い取り組みだと思う。</li> <li>・グラウンドの状況見て心配になったが、学校内外 の協力を得て、除草できたのは良かった。地域の 協力も得ながら、計画的に実施できると良い。</li> <li>・学校応援団花組の活動が充実している。</li> </ul>
	地域	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れ、 環境美化に努めてい る。	<p>35% 55% 5% 5%</p>	

西

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
働き方改革⑫	教職員	⑫学校は、働き方改革を進め、教科指導や教育相談等、直接生徒に係る時間が増えるよう努めている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定評価（①+②）の割合は、教職員50%（R3は71%）と肯定評価は高くない。さまざまな取り組みを試みているが、さらに工夫を重ねていく。</p>
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○業務のスキルアップを図る。</li> <li>○役割分担の見直しを図る。</li> <li>○業務削減等の工夫を図る。</li> <li>○上記項目を偏ることなく、バランスよく行っていく。</li> </ul>
	保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の働き方改革に関しては、さらなる工夫を重ねていただきたい。</li> <li>・地域や保護者の理解や協力を得ながら、働き方改革を進めてほしい。</li> </ul>
	地域			